

## 令和3年 6月定例会 市長提案説明

6月定例会の開催に当たりまして、所信の一端を申し上げますとともに、今議会に提案いたしました、議案の大要につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスの感染拡大は、多くの方々のご努力にもかかわらず、依然として収束の兆しが見えない上に、感染力が強いとされる変異ウイルスの広がりにより、都市部を中心に一日当たりの新規感染者数が高い水準にあるなど、全国的に感染拡大の第4波が猛威を振るっております。

このような状況の中、国においては、3回目の緊急事態宣言を、4月に東京都などの4都府県に発出し、ほかの都市部への感染拡大を受け、愛知県を含む6道県を対象地域に追加、期間も沖縄県を除き6月20日まで延長し、感染者の減少に向けた対策を強化してまいりました。

感染拡大が長期化する状況において、緊急事態宣言などで強いられてきた自粛への「疲れ」、対策への「慣れ」が心配されているところでありますが、まさに今が正念場であります。市民の皆様と危機感を共有し、この重大な局面を乗り越え、一日も早く安心な日常生活と、活力ある社会経済活動を取り戻していくため、市民や事業者の皆様、医療関係者と一丸となってこの第4波を抑制、克服してまいりますので、引き続き、感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染症によりお亡くなりになられたの方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、医療や介護の現場を始めとする感染症との闘いの最前線に立ち続けておられる方々の献身的なご努力に対し、心からの感謝と敬意を表します。

さて、本市においては、感染拡大の第4波の到来に伴い、さらなる増員を行い、保健所体制を強化いたしました。この対策は、ワクチン接種が進んで集団免疫が獲得されることや治療薬が開発されるなど、感染の収束が見込まれるまで強化してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の収束に向け、重要な鍵を握るのが絶大な感染抑制効果が得られるワクチン接種であります。本市のワクチン接種については、4月中旬から開始した高齢者施設入所者への接種を皮切りに、65歳以上のかたには、かかりつけ医での接種や福祉会館など公共施設での接種を開始しており、6月上旬までに約3万名の高齢者の

かたが1回目の接種を終える見込みとなっております。

ワクチン接種の予約に関しまして、5月13日から開始しております、ワクチン接種WEB予約サポート隊「ワクサポ」は、12日間で約2千名の方々にご利用いただき、少なからず予約のお役に立てたのではと思います。

しかし、まだまだ接種を希望される皆様にご予約をいただけているわけではございません。

そこで、「ワクサポ」の一環として、6月17日から65歳以上の方でインターネット環境や携帯電話をお持ちでないかたなど、これまで予約が困難であったかたを対象に市民センター等7箇所と市役所福祉会館で対面での予約受付を実施することをご案内しておりましたが、これらに中央総合公園も加えた全9会場で対面での予約受付を実施することで、より多くのかたにご利用いただける体制といたします。

中でも中央総合公園では、ドライブスルー方式を採用することで、3密に配慮しつつ、効率的な運営を図ってまいりますので、自家用車でお越しいただけるかたは、できるだけ中央総合公園をご利用ください。

他の会場へは公共交通機関や徒歩でお越しいただき、渋滞等で周辺にお住まいのかたにご迷惑が掛からないようご協力いただければと思います。

なお、対面予約では、ワクチン接種を行う場所や日時を選んでいただくことはできませんが、受付時間内にお越しいただいたかた、皆様が安心してご予約いただけるよう準備しておりますので、焦らずにお越しいただくようお願いします。

また、当日、お越し頂けない場合でも64歳以下のかたの予約が始まる前には65歳以上で接種を望まれる全てのかたが優先的に予約いただけるよう専用窓口の設置等を準備しておりますので、ご安心いただければと思います。

今後、64歳以下のかたには、65歳以上の方々の際の教訓を活かしつつ、速やかに接種券の送付や接種の開始に向けて準備を進めてまいります。

接種券が届いた直後は医療機関やコールセンターへの問い合わせも多くなると思いますが、岡崎市医師会などと連携し、接種を希望するかたには着実に接種して頂けるよう進めてまいりますので、慌てずにご対応していただきますようお願いいたします。

また、予約の集中を避ける工夫として、企業内の診療所などで社員のかたにワクチン接

種を行う、いわゆる「企業内接種」についても積極的に企業と連携し進めてまいります。今後、新たに市内に企業内接種推進チーム「キッシュ」を発足させ、円滑なワクチン接種に向けて体制構築を進めていきます。

この企業内接種の推進は、本市単独で進めても効果が上がりませんので、隣接する豊田市さんや安城市、刈谷市さんなどにもお声掛けし、接種券の発行時期や域内企業への協力依頼など、足並みを揃えた対応が図れるよう市域を超えて取り組みたいと考えております。

また、ワクチンを無駄にしない取組み「ロスゼロ」につきましては、高齢者施設を始めとする約 100 施設 300 名の方々に登録をいただき、医療機関や各施設のご協力により貴重なワクチンを無駄にせず、有効活用することで、接種を希望するかが少しでも早く接種ができるよう取組みを進めております。

幸いにも5月24日の運用開始から日々の対応は1、2件程度で計画どおりの接種が進められていると聞いております。市民の皆様にも体調不良によるやむを得ないキャンセルを除き、出来るだけ予約どおりの接種をお願いいたします。

これまでも国や県の感染症対策に加え、本市独自の対策として、「感染拡大防止策」と「経済対策」の両輪を実施することにより、市民の皆様の生活や事業者の皆様の事業継続を支えてまいりました。先の3月定例会でご議決いただきました「経済対策」として、現在、市内飲食店等を対象とした3つの事業を進めております。

一つ目は、本市独自の感染症対策協力金の支給であります。「愛知県感染防止対策協力金」の対象から外れた飲食店、喫茶店を対象とし、一店舗あたり10万円の感染防止対策協力金を支給するものであり、申請期限を5月末から6月末まで延長することといたしました。既に5月末時点で、100件を超える申請をお受けしており、速やかな支給に努めてまいります。

二つ目は、岡崎グルメデリバリー支援事業であります。コロナ禍における注目業態「宅配」にチャレンジする飲食店への支援として、今月より、登録店舗が宅配事業に着手いたします。多くの店舗にご登録いただき、また、多くの市民にご利用いただき、お店の売上アップにつなげていきたいと思っております。

三つ目は、キャッシュレス決済ポイント還元事業であります。飲食店への消費喚起を促すべく、民間スマートフォンキャッシュレス決済サービス「ペイペイ」を利用したかたに、代金の20%相当額のポイントを還元するもので、現在、実施に向けて準備を進めており

ます。時期につきましては、感染状況を考慮しつつ、早ければ7月より実施できるよう準備を進めてまいります。多くのかたに市内の飲食店をご利用いただき、仕入れ先を含む業界全体の支援につながることを期待しています。

また、生活支援策として、この春、新たに小・中学校にご入学された児童・生徒の皆様には、3,000円分の図書カードを贈らせていただきました。これは、子供たちが外出やイベントなどの体験の機会が奪われていることに加え、学用品の購入など、何かと出費がかさむこととなる新入学生の皆様に、興味あることや調べてみたいことなど、いろいろ学んで楽しくご家庭でお過ごしいただきたく、贈らせていただきました。さらに、外出機会を減らして小さなお子さんを育てていらっしゃる家庭を支援するために、自宅に居ても図書館の本を利用できるサービスとして「絵本の宅配便」を本日から開始します。学校給食費につきましても、令和元年9月から、食材費の上昇に伴う負担を公費で賄うことにより、各家庭への負担軽減を実施しており、今年9月から保護者負担とさせていただく計画でありました。しかしながら、長引くコロナ禍における家計負担を軽減する観点から、値上げ措置を延期させていただくこととしました。

また、市民の皆様や事業者の方々に対する支援策として、水需要の増加が見込まれる夏場の水道料金の負担軽減を図るため、7月請求分からの4か月間、水道料金の基本料金を免除させていただきます。今後も引き続き、国や県と緊密に連携を図り、市民生活や地域経済の動向を捉えた必要な対策や支援を的確に行ってまいりたいと考えております。

さて、令和3年度はこれまで改修工事を進めてきました施設の多くが、関係各位のご理解やご協力のおかげをもちまして、リニューアルオープンを迎えることができました。

勤労文化センターを利活用しました社会福祉センターは、障がいのあるかたやボランティア団体などのご意見を伺いながら整備を進め、誰もがご利用いただける施設として開館いたしました。今後は、地域福祉を推進する拠点として、ボランティアや福祉関係者はもとより、多くの市民のかたにもご利用いただくことで、市民の福祉への関心を高め、地域福祉活動への参加を促進させる役割を担ってまいります。

次に、せきれいホールは、座席の拡張や音響環境の改善、つり天井の改修などにより、鑑賞環境と安全性が格段に向上しました。トイレの洋式化と集会室棟へのエレベーター設置により、ご要望が多かったバリアフリー化を実現しました。今後は、500人収容のホールと、中小規模の集会室を組み合わせ、演劇や発表会、講演会など幅広い催しの開催により、地域文化の貴重な発表の場を提供してまいります。

また、中小企業・勤労者支援センターは、社会人の学び直しの間としてドローンや先端技術の活用に向けた取組がスタートしています。このうち、ドローンの体験講座については、2か月で、約200名のかたが受講し、9割を超えるかたが「楽しかった」、「ためになった」と回答しています。引き続き、社会人を始めとする市民の皆様に、先端技術に触れる機会を提供してまいります。

最後に、総合学習センターは、大ホールの解体、多目的ホールの建設及び研修棟などを改修し、安全で快適な教職員の研修及び市民の生涯学習活動のための施設として生まれ変わりました。特に、研修棟については、理科、家庭科等の実験や実技の講習ができ、ICT環境を充実させました。

市民の皆様にも講演会、発表会等の生涯学習活動の間として、多目的ホール等をご利用いただけますので、是非、ご活用していただきますようお願いします。

次に、イオンモール岡崎内にあります市民サービスコーナーについてであります。今月3日より、市民サービスコーナーにおいて、住所変更届、出生届や婚姻届などの戸籍届の受付、課税証明書などの税関係証明書の交付、印鑑登録も開始します。

マイナンバーカードの申請や交付、住民票の写しの交付などの業務に加え、新たな業務を開始することで、市民の利便性の更なる向上を図ってまいります。

なお、従来の市役所本庁舎で土曜日の午前中に開設していましたが土曜窓口は、市役所の業務時間後や土日、祝日でも開設している市民サービスコーナーへ移行させていただきます。

さて、市民の皆様が、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、現在、犯罪抑止に効果的な場所へ、街頭防犯カメラの設置を進めております。令和3年1月から運用

を開始して5か月が経過しておりますが、犯罪発生状況は着実に減少しております。

先日、岡崎警察署から、街頭防犯カメラの設置を市内全域に推進していることや、映像提供などの協力により、捜査に大きく貢献しているとして、感謝状をいただいたところがあります。

今年度も、市内小中学校周辺を中心に350台の街頭防犯カメラを新設するため、現在、岡崎警察署や地域の皆様のご協力をいただき準備を進めております。

これにより、更なる犯罪認知件数の減少と、犯罪を起こさせない安全安心なまちづくりに向けて、犯罪抑止対策を加速させてまいります。

次に、本年4月より、愛知県において「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されたことにより、本市では、新たな取り組みとして、満7歳から満18歳までの児童・生徒等及び満65歳以上のかたを対象とした、自転車乗車用ヘルメットの購入費に対する補助金の申請手続きを、本日より開始しております。ヘルメットを正しく着用することは、自転車乗車中の交通事故の際、頭部損傷による死者の割合がおよそ4分の1に低減すると言われるなど、人的被害の重大化防止に有効です。ヘルメット着用率の増加により、被害の軽減及び死亡事故の抑止を図ってまいります。

また、市民参加型の市政の推進に関しましては、政策等の策定や事業推進に対する市民参加による合意形成のあり方を調査及び検討するため、4月に市民参加型市政推進調査部会を設置しました。現状の市民参加における課題の整理や今後の方向性等について調査及び検討を行ってまいります。その中で、若手・中堅職員を積極的に参加させ、岡崎市版「市民参加型市政」の構築に取り組んでまいります。

最後になりますが、2023年大河ドラマ「どうする家康」の放送決定を受け、ドラマの活用に、全庁を挙げて取り組む内部組織「どうする家康活用推進本部」を先日立ち上げました。

ドラマには全国の家康公ゆかりの自治体が関心を示しております。家康公生誕の地である岡崎の強みをどのように生かしていけるか情報共有を図り、事業の検討、調整を図ってまいります。

また、新たな徳川家康公を活用した観光プロモーションの例として、ライトノベルの「鋼

鉄城アイアン・キャッスル」と異例のタイアップを行いました。

この作品はアニメ化を前提としたプロジェクトで、若き家康公・松平竹千代を主人公として書かれており、タイアップポスターを制作したほか、岡崎市美術博物館でフォトスポットを設置するなど、PRを行っております。

また、その他、本市に関わりのある小説やゲームなど色々なジャンルでタイアップして、盛り上げてまいります。

それでは、本議会に提案をいたしております、議案について説明させていただきます。

条例議案は、地方税法等の一部改正に伴い、関連する規定を整備する、「岡崎市市税条例の一部改正」、公共調達を通じて、地元企業の育成及び地域経済の持続的な発展に寄与するため、地元企業の優先調達に係る市の基本理念を定める「岡崎市地元企業優先調達条例の制定」など、5件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、災害対応特殊救急自動車2両、及び、高度救命処置用資機材2組に関する「物品の取得」2件を、提案させていただいております。

次に、補正予算議案であります。一般会計は8億8,847万2千円の増額、特別会計は23万円の増額、企業会計は3,988万1千円の増額補正をお願いしております。

総務費は、籠田公園や中央緑道の整備により賑わいが生まれました、乙川リバーフロントエリアへの民間投資の誘導を加速するための政策企画推進支援委託料の計上、民生費は、国の緊急支援策である低所得者の子育て世帯生活支援特別給付金のふたり親世帯分に係る事業費の増額、衛生費は、国の要請により、高齢者施設等の従事者に対するPCR等検査の回数を増加することによる新型コロナウイルス感染症行政検査委託料の増額、農林業費は、国産漆のニーズの高まりから、岡崎漆プロジェクトを発足させ、育成環境を整備するために必要となる事業費の計上などをお願いしております。

以上が、本議会に提案いたしました議案の大要であります。

さて、本市では冒頭で述べました経済対策以外にも、新型コロナウイルス感染症の影響などにより困っている方々へ様々な支援を行っております。生理の貧困への対応としまし

て、防災備蓄品を活用し、4月21日から生理用品の無償配布を開始いたしました。さらに、本日6月1日より、本事業の趣旨にご賛同いただいた方々からご寄附がありました生理用品を活用し、りぶら、げんき館、市内5か所の地域交流センターの女子トイレ及び多目的トイレに生理用品を設置し、市役所の閉庁日にも利用していただけるようにいたします。今後もお寄附を呼びかけながら、年度内は配布を継続したいと考えております。そのほか、4月下旬には岡崎市社会福祉協議会の協力を得てフードドライブを実施し、アルバイトや仕送りが減少したことで困っている学生の皆様へ食料品をお届けいたしました。今後皆様からのご寄附の活用や民間とも連携し、必要とするかたへ支援を行ってまいります。

市民が生活していく上での困り事は、年々複雑化、多様化してきております。こうした困り事に対応するため、この4月から新設した「ふくし相談課」を核とする福祉総合相談体制がスタートしました。既に生活困窮やひきこもり、虐待などご家庭が抱えるさまざまな悩みをご相談いただいております。個人や世帯が抱える課題に対し、適切な支援策をコーディネートするとともに、自ら相談に行くことができないかたへの訪問支援や孤立している相談者が社会参加するための支援など伴走型の支援を行ってまいります。

また、7月からは若者相談窓口として若者サポートセンターが本格稼働いたします。ひきこもりやニートなど若者が抱える課題に対しても、世帯に寄り添い、しっかりと支援してまいります。

おかざき世界子ども美術博物館では、4月25日から、障がいのある子どもたちのどこまでも自由な、あふれる想像力によって制作された作品を展示する「子どもたちのアール・ブリュット」をはじめております。

また、スポーツの面から、スポーツは人を動かし、人を育て、経済を成長させ、社会を変える力を持っています。またトップチームやトップアスリートが地元にいることは、スポーツの普及・振興、地域への誇り・愛着の醸成に大きく寄与することから、要件を満たす個人又はチームへの支援金の交付などにより、世界・全国レベルで活躍する選手・チームを発掘し、地域ぐるみで支え、応援できるように「岡崎アスリート支援事業」を5月17日から開始しました。

これらの取組みを通じて、誰一人置き去りにしない、日本一の幸せを実感できるまちづ



くりを進めてまいります。

また、リニューアル工事を進めていました中央緑道が開通したことにより、東岡崎駅から康生方面へとつながるQURUWAの主要回遊動線が完成しました。これに合わせて、公共空間が生み出す「新しい日常」を体験していただくイベント「QURUWAと暮らす」を開催しましたところ、多くの市民の皆様にお越しいただきました。至るところで、生まれ変わったまちを散策しながら、思い思いに楽しんでいただく様子が見られ、QURUWA戦略が思い描く「良質な都市空間を楽しむ日常」や「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージを市民の皆様と共有することができたものと実感しております。今後とも、公共空間が生み出す「新しい日常」の実現に向けて、公共空間の利活用促進をはじめ民間活動や民間投資を呼び込む取り組みを進めてまいります。

最後に、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という、未曾有の事態に直面する状況の中、私は、市長就任以来、市民の皆様への命や健康を守るため、新型コロナウイルス感染症対策を市政における最優先課題と位置付け、各種対策に積極的に取り組んでまいりました。市民の皆様へ寄り添えば、必ずと答えが見つかってまいります。明けない夜はありません。感染拡大により先の見えない状況が続いておりますが、必ず収束する日が訪れるものと信じております。本年がその年となることを強く願い、そして、私たちが積み重ねてきた知恵と経験を結集し、必ずこの困難に打ち克てると確信するとともに、コロナ禍のピンチをチャンスと捉え、「新しい日常」の時代により良い市民サービスを提供できる市役所に進化することができるよう、全庁一丸となって取り組んでまいります。

以上、ご説明を申し上げますとともに、提出をいたしております、諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。